

研究題目 Omics 解析による骨軟部腫瘍の多様性の解明と治療標的・ バイオマーカーの探索

研究組織

研究代表者：松田浩一（東京大学大学院新領域創成科学研究科）

共同研究者：小迫英尊（徳島大学先端酵素学研究所）

研究分担者：谷川千津（東京大学医科学研究所）

【1】研究の概要

[1-1] 本研究の目的・概要

本研究提案では、骨軟部腫瘍検体および腫瘍由来 PDx, PDc を用いて薬剤パネルによるスクリーニングと Multiomics 解析、探索的ゲノム研究を実施する。全体計画の中で、徳島大学においては、proteome 解析を担当頂いた。

[1-2] 研究の方法・経過

これまで国立がん研究センター、がん研究会、大阪国際がんセンターとの連携で、約 50 の骨軟部腫瘍由来 PDx, PDc を用いて WGS, Proteome 解析、薬剤パネル解析を実施した。徳島大学では、PDC/PDX 由来サンプルを用いた proteome 解析担当頂いた。

【2】研究成果

[2-1] 本共同研究で明らかになった研究成果

本研究の結果、これまでに Myxoid liposarcoma に対する有力な予後マーカーが同定された。また現在約 50 の multiomics 解析によって、腫瘍特異的融合遺伝子などの探索を進めている。

[2-2] 本共同研究による波及効果及び今後の発展性

肉腫特異的なマーカーが同定されれば、診断や予後予測としての利用、治療標的としての検証、ネオアンチゲンを対象とした治療法開発などに有用となると期待される。

【3】主な発表論文等[3-1]論文発表

1 . Comprehensive molecular and clinicopathological profiling of desmoid tumours.

Kohsaka S, Hirata M, Ikegami M, Ueno T, Kojima S, Sakai T, Ito K, Naka N, Ogura K, Kawai A, Iwata S, Okuma T, Yonemoto T, Kobayashi H, Suehara Y, Hiraga H, Kawamoto T, Motoi T, Oda Y, Matsubara D, Matsuda K, Nishida Y, Mano H. Eur J Cancer (IF: 7.275; Q1). 2021 Mar;145:109-120.

[3-2] 学会発表

該当なし

[3-3] 成果資料等

該当なし

【4】今後の課題等

今後の課題、その他等

本研究課題は、R3 年度も次世代がん事業にて継続予定である。